

し き じ ・ に ほ ん ご
 2020 12月 6号 ニ ュ ー ス s o j i j i

きょうしつさいかい ご
 教室再開、その後

コロナ禍で新学期から2か月遅れて始まった識字・日本語教室。
 いまは、火・木・土にクラスを分けて、ソーシャルディスタンスを保ちつつ、1時間毎に換気も行い、
 感染対策に十分気を付けています。
 各曜日、1～4.5人の生徒さんと同人数の先生がパーテーションを間に向かい合って、または横に並んで
 学習に励んでいます。たいへんな時でも、がんばって学習している生徒の皆さん、それに応えて熱心
 に教えて下さる先生方に頭の下がる思いです。



じゅぎょうふうけい
 授業風景



やさしいにほんご



医療や災害の現場で、より簡単な「やさしいにほんご」を使う動きが広がっています。
 たとえば・・・

「暴風」	→	「風が強くなります」
「避難所」	→	「にげるところ」
「体温を測定していただけますか？」	→	「熱を測ります、調べます」
「結果は後日電話でお知らせいただく形になります」	→	「あすには結果が出ます、電話をします」

などです。日頃、何気なく使っている言葉でも、日本語を母国語としない外国の方にとっては
 理解するのが難しいことがあります。改めて日本語学習の難易度を知らされます。
 ひとりひとりが言葉の意味を考え、「やさしいにほんご」を使うように心がけていきましょう。